

平成 23 年度化学物質の内分泌かく乱作用に関する公開セミナー

(EXTEND2010) プログラム (案)

(講演題目は変更される可能性があります。ご了承下さい。):

■ 10:00~10:10 環境省 開会挨拶**■ 10:10~12:10 化学物質の内分泌かく乱作用に係る問題の経緯と現状について**

- 10:10~10:50 内分泌かく乱作用に係る問題の経緯について [青山博昭] (財団法人残留農薬研究所)
- 10:50~11:30 内分泌系及び化学物質の内分泌かく乱作用とは [鑪迫典久] (独立行政法人国立環境研究所)
- 11:30~12:10 環境省による取組の現状について [環境省]

(12:10~13:30 休憩)

■ 13:30~15:10 EXTEND2010 による研究の成果

- 13:30~13:40 EXTEND2010 において実施している研究の概要説明 [環境省]
- 研究成果の報告
- 13:40~14:10 アカトンボ減少傾向の把握とその原因究明 [上田哲行] (石川県立大学)
- 14:10~14:40 海産無脊椎動物ホヤのトキシコジェノミクス研究 [安住薫] (北海道大学)
- 14:40~15:10 内分泌かく乱作用が疑われる生物蓄積性化学物質の野生生物汚染 - 新規 POPs による日本およびアジア地域の汚染実態 [田辺信介] (愛媛大学)

(15:10~15:30 休憩)

■ 15:30~16:50 海外からの招待講演 (日英同時通訳あり)

- 15:30~16:10 米国における化学物質の内分泌かく乱作用に係る行政の動向
米国招待講演者: Dr. Leslie Touart
(U.S. Environmental Protection Agency、Office of Science Coordination and Policy)

16 : 10～16 : 50 英国における化学物質の内分泌かく乱作用に係る行政及び研究の動向

英国招待講演者：Professor Thomas Hutchinson

(Centre for Environment, Fisheries and Aquaculture Science)

■ 16:50～17:00 環境省 閉会挨拶